

の如し

△中央大学学生大会 五月二十七日図書館及教室新築落成祝賀を兼ね学生大会を開催せり会場は校庭に大天幕を張り演芸場を設け紅白の幔幕を廻らし校旗を以て飾られたり定刻前既に二千有余の来賓学生を以て充たさる岡野学長馬場両理事の来会せらるゝや西原要人君開会の辞を述べ君が代、校歌の合唱後直ちに余興に入り陸軍軍楽隊の奏する各曲を挟みて邑井貞吉の講談、小田原國尊、高峯筑風の琵琶、春本助治郎の曲芸等ありて薄暮記念絵端書、祝賀の赤飯を配付しサイダー菓子或は寿司、水菓子等の模擬店開かる夜に入りて学生の余興あり一同十二分の歓を尽し和氣藹々裏に散会したるは午後八時を過ぎたり

△経済学会春季大講演会 本年は経済学の大家アダム・スミスの生誕二百年に相当するを以て之が記念祭を兼ね六月三日春季本会大講演会を開催せり定刻前より来聴者堂に満つ経済学会長桑田博士の開会の辞あり松浦教授の「アダム・スミスの経済理論に就て」の講演あり次で蠟山講師は「政治的方面よりスミスの経済論」を、中島講師は「欧洲労働運動と吾国労働運動」に就て大に熱弁を奮はる最後に植原悦次郎氏は「吾国の産業革命」と題して経済より政治に亘りて論究せられ盛会裏に散会を告げたり

762 中央大学諸会（中央大学学生大会・経済学会春季大講演会・法学会討論会・中央大学学術講演会）

〔『法学新報』第33巻7（379）号 大正12年7月1日〕

○中央大学諸会 中央大学に於て先月中に行はれたる諸会左

○法学会討論会 六月三日開催草野講師出題の「稠人の前にて臀部股部を露はし其他醜態を演ずる者あり因て之に鉄拳制裁を加へて之を止めしめたり刑法上如何に考察すべきか」に就き先生の審判の下に討論せり甲論乙駁互に鏑を削りて追究尽くる

所を知らず首尾能く当日の月桂冠を得たるは一等西村正雄二等  
小林藤市三等森田耕作の諸氏なりき

○中央大学学術講演会 法学、経済学、商業学の学究たる本学  
学生の為に平素等閑視せられ勝ちなる建築及び歴史上の問題に  
関する斯学専門学者の講演を催すは其の品性向上の点に於ても  
将た趣味涵養の上より観るも裨益する処鮮少ならざるへしとの  
趣旨にて此の問題に就ての学術講演会を去月十六日中央大学大  
講堂に開催せり当日工学博士伊東忠太氏は『神社建築と明治神  
宮』と題し、史料編纂官中村勝麻呂氏は『歴史上より観たる太  
平洋問題』に就き数時間に亘り何れも熱心に講演せられたり伊  
東博士は斯道の大家にして明治神宮の造営主任たりし人又中村  
学士は嘗て此演題に就き 摂政宮殿下の御前講演を為したる人  
にして共に知名の士なれば聴衆に与へたる感激の甚大にして有  
益なる蓋し近来稀に見る盛会なりき